

1) システムの名称 :

**HOPE LifeMark-HX (ホープ ライフマーク-エイテックス)**

2) 対象業務、電子カルテシステム内での位置付け :

1. 電子カルテ・所見記述系、2. オーダエントリ系、8. 看護・介護系

3) 特色 :

1. 医療の現場で“使いたくなる”システム  
診療業務で患者の必要な情報をいかに効率よく、素早く容易にアクセスし情報収集ができるかが業務効率化のポイントになります。HOPE LifeMark-HX では、必要な情報へのアクセスと業務効率化を追求しております。
2. 情報をより良い未来へ繋ぐデータベース  
電子カルテに蓄積された診療情報の統合管理とデータ利活用を重視したデータベースです。オーダ・カルテ・看護支援・医事会計システムを同一データベース上で管理しているので、診療データ、会計データを含めた患者情報のリアルタイムな共有が可能になっています。
3. システム運用管理をダイナミックに革新  
運用系サイトと待機系サイトを用意することで二系統化を実現しており、定期点検やレベルアップ作業時の資源入れ替えなどにおいて運用系サイトと待機系サイトを切り替えながら片系ずつ資源入れ替えが可能となる為、法定点検やシステム停止を最小限にとどめて作業が可能になりました。

4) 画面／構成図を含めた分かりやすい説明 :

**カルテが見やすく、情報が探しやすい、記載しやすいシステム**  
HOPE LifeMark-HX では、必要な情報へのアクセスと業務効率化をサポートする新機能として「ダッシュボード」と「ウィジェット」を提供しています。ダッシュボードは利用シーンや診療シーンにあわせてカルテの初画面レイアウトを自由に構成できます。ウィジェットは病名や処方歴、検査結果、バイタルサインといった機能や項目ごとに部品化しており、ダッシュボード上に配置できます。ダッシュボードに配置されたウィジェット同士が互いに連携して欲しい情報にすぐにアクセスすることができるので、利用者の思考に則した情報へアプローチすることができます。



※ダッシュボードとは・・・複数の情報源からデータを集め、概要をまとめて一覧表示する機能のことです。  
※ウィジェットとは・・・一目で情報が得られる小型化されたアプリケーションのことです。ダッシュボードで動作します。

<機能一覧>

- 利用者認証
- 患者選択
- 基本
- 診療カレンダー
- セーフティマネジメント支援
- 病棟業務
- オーダ
  - ◆処方・注射オーダ ◆検査オーダ ◆生理検査オーダ
  - ◆放射線検査オーダ ◆予約オーダ ◆病理オーダ
  - ◆処置オーダ ◆入院オーダ ◆リハビリ/透析
  - ◆手術・麻酔・輸血依頼オーダ ◆指導オーダ/他科診依頼
- 統合部門ライブラリ
- 歯科ライブラリ
- 生体検査ライブラリ
- 輸血ライブラリ
- 医事ライブラリ
- 検体検査結果参照
- 診療画像・レポート参照
  - ◆画像 ◆レポート
- カルテ
  - ◆基本 ◆病名・プロブレム ◆カルテ作成支援
  - ◆サマリ ◆クリティカルパス ◆院内文書
- 看護
  - ◆基本 ◆病棟 ◆記録 ◆認証
- DWHシステム

5) 標準化への対応状況、未達成の場合対応予定および対応のための追加費用の有無 :

- (1) マスタ/コード体系  
MEDIS-DC 標準病名マスタ (ICD10) 準拠、その他 MEDIS-DC 標準マスタは部分的に採用  
検査マスタは日本臨床検査医学会 臨床検査項目分類コード (JLAC10) をベースに当社独自マスタ構築  
画像検査マスタは JJ1017 画像検査コード Ver3 をベースに当社独自マスタ構築  
※経済産業省の相互運用性実証事業の一環として、埼玉医科大学総合医療センター様等にて JJ1017 を採用して運用中。
- (2) データ交換規約  
■ JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver. 4. 0C、JAHIS 放射線データ交換規約 Ver. 3. 1C、JAHIS 生理検査データ交換規約 Ver. 3. 0C、JAHIS 内視鏡データ交換規約 Ver. 3. 1C、JAHIS 処方データ交換規約 Ver. 3. 0C、JAHIS 注射データ交換規約 Ver. 2. 1C、JAHIS 病名情報データ交換規約 Ver. 3. 1C、JAHIS データ交換規約 (共通編) Ver1. 1、JAHIS 基本データセット適用ガイドライン Ver. 2. 2 に基づき、HL7 Ver. 2. 5 形式でのデータ出力機能を装備しています。

そして、2003 年度から始まった IHE-J コネクタソンに参加して合格すると共に、各医療機関様への早期導入も実現しています。

(3) データ交換手法：TCP/IP ソケット会話を中心に実装

(4) IHE-J コネクタソン実装（合格プロファイル名）：

Endoscopy（内視鏡分野）

■EWF(Endoscopy Workflow)：内視鏡検査のワークフロー【Order Placer】

Laboratory（臨床検査分野）

■LTW(Laboratory Testing Workflow)：臨床検査のワークフロー【Order Placer,Order Result Tracker】

■LTW-MB(Laboratory Testing Workflow-MicroBiology)：臨床検査（細菌検査）のワークフロー【Order Placer、Order Result Tracker】

■LBL(Laboratory Barcode Labeling)：採取管準備【Label Information Provider】

IT Infrastructure（IT インフラ分野）

■PAM(Patient Administration Management)：患者情報管理【Patient Demographic Supplier、Patient Demographics Consumer、Patient Encounter Supplier、Patient Encounter Consumer】

■PDQ(Patient Demographics Query)：患者情報の問合せ【Patient Demographic Supplier】

■CT(Consistent Time)：時刻の整合性【Time Client】

※当社は、従来医療情報の相互運用性確保に取り組んでおり、各種標準化要素（標準規格や標準マスタ等）を自社製品へ積極的に反映しています。当社の標準化への取り組みや IHE Integration Statement(IHE 統合宣言書)については以下のサイトをご参照下さい。

<https://www.fujitsu.com/jp/solutions/industry/healthcare/products/ihe-j/index.html>

(5) 標準化未対応の場合、対応可否および追加費用の有無を記載

追加対応：可（お客様個別対応）、追加費用：有

(6) 厚生労働省標準規格（医療情報標準化指針）への対応

・HS001 医薬品 HOT コードマスタ：病院様独自コードから医薬品 HOT コードマスター（HOT9）への変換機能を有しています。（利用範囲：ストレージ作成）

・HS005 ICD10 対応標準病名マスタ：標準で採用しています。

・HS012 JAHIS 臨床検査データ交換規約：JAHIS 臨床検査データ交換規約に基づく実装を行っています。

・HS013 標準歯科病名マスタ：標準で採用しています。

・HS016 JAHIS 放射線データ交換規約：JAHIS 放射線データ交換規約に基づく実装を行っています。

・HS022 JAHIS 処方データ交換規約：

SS-MIX 出力において JAHIS 処方データ交換規約に基づく実装を行っています。（利用範囲：ストレージ作成）

・HS026 SS-MIX2 ストレージ仕様書および構築ガイドライン：SS-MIX2 ストレージ仕様書および構築ガイドラインに基づく実装を行っています。

・HS027 処方・注射オーダ標準用法規格：SS-MIX 出力において病院様独自コードから処方・注射オーダ標準用法規格への変換機能を有しています。（利用範囲：ストレージ作成）

6) 動作環境（ソフトの場合）、ハードスペック（ハードの場合）：

「OS」サーバ：Windows Server 2019

クライアント：Windows10

「機種」サーバ：富士通 PRIMERGY シリーズ クライアント：富士通 FMV シリーズ

7) 稼働までに必要な作業・期間：

システム規模によるため要問い合わせ。

8) 価格（桁数（日本円における桁数）、「ご相談」は不可、桁数帯・金額・金額帯を入れても良い）：

3 千万円台～ ※販売価格は最小構成におけるパッケージ標準価格となっております。

9) 保守の内容と費用：

システム規模によるため要問い合わせ。

10) 問い合わせ先（販売会社 担当者、URL、e-mail 等）および開発元（もし別途あれば）：

富士通 Japan 株式会社 ヘルスケア第一ソリューションビジネス部 TEL：03-6252-2701

関連ホームページ <http://www.fujitsu.com/jp/solutions/industry/healthcare/>

（富士通 Japan ヘルスケアソリューション紹介ページ）